

編集後記

本誌表題の項目数の増加は、研究対象の多様性を物語り、時には内容の深化をも意味する。

例えば、巻頭の講演筆記と巻末の会報は、その一端を示すものであり、他の論考等は従前の形式ながら、地方史研究の水準を一步も二歩も前進せしめ、熟読に値するものがある。

さらなる発展を期し、読者諸氏の研鑽と会員諸賢の投稿を希求すること切なるものがある。

(伊藤記)

昭和六十年九月二十五日 印刷
昭和六十年九月三十日 発行

大分県地方史 第二一九号

編集者 伊藤 勇 人

発行者 渡 辺 澄 夫

印刷者 中 尾 寿 孝

別府市中央町九一五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 ㊟〇三四一)

発行所

〒八七〇一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関八一五二九四番)